



ウェルビーイングと環境 ～くらしの視点から～

地球温暖化・気候変動により、今私たちのくらしは様々な面で深刻な影響を受けています。この世界共通の課題に関して、“将来世代を見据えた法律や制度”および“エコフェミニズムの視点”から環境を捉える考え方について、二つの講演を通して学び、さらに全国各地の支部からの身近なくらしの具体的な事例報告を受け、参加者一人一人がこの気候変動危機にどう対応すべきか行動指針を得る機会としたいと思います。

10月18日(土)13:00-17:00
19日(日) 9:20-12:00

会場：エッサム神田ホール1号館 3階
大会議室301号(千代田区神田鍛冶町)
定員：会場-80名 ZOOM-80名
参加費：1000円 学生無料



10/18

基調講演 一原雅子 京都支部
京都大学特定助教

気候変動訴訟と将来世代法
～未永くみんなの幸せを守るには?～

講演内容

世界で急増する気候変動訴訟。その原因には、従来の制度や政治が将来世代に十分に配慮してこなかった点があるとされます。本講演では気候変動訴訟の現状と、将来世代法や関連する制度を紹介し、私たちができることを皆様と考えたく思います。

プロフィール

京都大学大学院地球環境学堂修了
博士(地球環境学)
法学研究科法政策共同研究センター
環境と法ユニット 特定助教



10/19

特別講演 萩原なつ子
国立女性教育会館理事長

エコフェミニズム
～環境をジェンダー視点から捉える～

講演内容

エコフェミニズムという言葉が誕生してから半世紀がたちます。エコフェミニズムが目指す社会は「平和で人類と地球のよりよい関係」です。ジェンダー平等の実現と女性・少女のエンパワメントはSDGsを達成するための前提条件となっています。皆さんと一緒に、持続可能で公平な開発における女性の役割について考えてみたいと思います。

プロフィール

お茶の水女子大学大学院修士課程修了
博士(学術)
現職の他、立教大学名誉教授、中央教育審議会委員等を務めている

10月18日(土)

- 13:00 開会
- 13:10 基調講演 一原雅子
- 14:10 休憩
- 14:20 支部報告 ①②③④
- 15:45 休憩
- 16:00 支部報告 ⑤⑥
- 17:00 閉会

自然災害

① 「山火事 豪雨 世界の状況」

報告:木口京子 岡山支部

生物多様性への影響

② 「絶滅の危機は何を意味するか」(仮)

報告:長谷和子 仙台支部

食料問題

③ 「コメ 産地からの視点」

報告:大淵智絵 新潟支部

④ 「北海道の水産業の課題」

報告:瀧元智恵 札幌支部

⑤ 「天ぷら油で飛行機を飛ばそう！」

報告:遠藤理枝 東京支部

再生可能エネルギー

⑥ 「課題を克服して明るい未来を」

報告:梅田和子 長崎支部

プログラム 2日目

10月19日(日)

- 9:20 開会
- 9:25 特別講演 萩原なつ子
- 10:25 休憩
- 10:40 ディスカッション
- 12:00 閉会

申込方法 申込期間 8/26～10/15

▶Google申込みフォーム →

<https://forms.gle/yisuUTw94dFrtyYHA>

▶Email : jauw@jauw.org

▶Fax : 03-3358-2889



会場へのアクセス



★Email/FAX 記載事項

1. お名前 2. 支部名 3. 電話番号
4. 参加方法 会場/ZOOM
ZOOM参加の方には、10/16にURLを通知
5. 懇親会参加申込み

★懇親会のご案内

日時:10月18日(土)17:30～
場所:フレンチビストロTchin-TchinGORO
セミナー会場から徒歩5分
定員:40名(先着順)
料金:5000円程度(当日集金)

振込先 参加費 1000円 学生無料

一般社団法人 大学女性協会
ゆうちょ銀行 00110-7-323298
(他銀行から 当座 〇一九店 323298)

